

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料2

長久手市第2次地域公共交通網形成計画の評価等結果（平成31年4月～令和6年3月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市内公共交通の利用者数の増加	リニモ：4,390,000人/年（市内6駅の乗車客数） 名鉄バス：794,000人/年（市内バス停利用者数） Nーバス：271,000人/年	Nーバスの移動ニーズを分析し、地域に適した運行体系の検討を図るとともにバスマップや広報紙での情報発信、周知を図る	交通事業者の利用実績	リニモ：3,755,000人/年 名鉄バス：728,000人/年 Nーバス：132,734人/年	長久手市公共交通計画策定に向けて新型コロナウイルスの影響に伴う利用者減少からの回復を考慮した目標値を再設定する。また、アンケート調査やワークショップの結果を踏まえ、移動ニーズを分析し、実施すべき取り組みへと反映する。	
市内公共交通の利便性の向上	・各公共交通の利用している人の割合の増加 リニモ：57%以上 名鉄バス：37%以上 Nーバス：25%以上		R4市民アンケート調査	リニモ：62.7% 名鉄バス：38.7% Nーバス：23.1%		
効率的な公共交通の確保	・隣接市コミュニティバスと接続していることの効果の向上 60%以上	利用促進と周辺地域との連携強化	R4市民アンケート調査	82.3%	目標を達成しているため、今後も利用促進や情報発信を継続して行う。	
	・Nーバスの1便当たり利用者数の増加 Nーバス：11.4人/便	運行体系の適正化と他の公共交通との連携強化	交通事業者の利用実績	Nーバス：9.5人/便		
公共交通に対する満足度の向上	・公共交通を便利にする取組の満足度の向上 25%以上	移動ニーズに合わせた路線再編と公共交通間の乗り継ぎ性の強化	R4市民アンケート調査	22.1%	Nーバスの運行体系に係る不満が割合として大きいため、移動ニーズに適した運行形態を検討する。	
公共交通に対する市民意識の向上	・公共交通利用を考える意識の向上 25%以上	公共交通応援隊による子ども向けの啓発イベントの開催 市ホームページ、広報紙、バスマップでの周知	R4市民アンケート調査	26.9%	目標を達成しているため、今後も利用促進や情報発信を継続して行う。	
	各公共交通を利用しない理由で「バスがどのように走っているか分からない」という回答割合の減少 名鉄バス：20%未満 Nーバス：20%未満	市ホームページ、広報紙、バスマップでの周知	R4市民アンケート調査	名鉄バス：16.7% Nーバス：19.5%	目標を達成しているため、今後も利用促進や情報発信を継続して行う。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。